

1898	明治31. 1.31	県、「紫金牛(やぶこうじ)取締規則」を發布、紫金牛の取引の場所を、新潟町西堀通・西堀前通一帯に限定する(⑦329)
	1～2.	新潟市造船所船大工、1日10時間労働、同一賃金を求めて同盟罷業を行う(⑦380)
	3.15	第5回衆議院議員総選挙。進歩党9, 自由党3, 中立1人当選する(⑦181)
	3.21	新潟電燈株式会社、営業を開始する(⑦665)
	5.28	西蒲原郡巻町千仏堂で、町村会長ら60人集会。伊藤内閣の地租増徴に反対運動を起こすことを決める(⑦181)
	5.29	県下の大地主ら、新潟市偕楽館で集会。増税反対を決議、運動委員を上京させることを申し合わせる(⑦183)
	6	鳥屋野潟が氾濫し、新潟市とその周辺に大きな被害が出る(⑦319)
	7.15	自由、進歩両党が合同、憲政党新潟支部の発会式が新潟市で行われる。7月23日憲政党頸城支部を結成する(⑦184)
	8.1	第6回衆議院議員総選挙。県下では憲政党が全議席を独占する(⑦184)
	8.下	県会、県当局が提案した道路26線の開削計画を可決する(⑦199・563)
	9.6～7	3年連続の大洪水により、県下大きな打撃をうける(⑦472・319)
	11.19	憲政党新潟支部、党本部分裂の余波を受け、この日解散。20日、旧自由派、新憲政新潟支部結成。11月27日旧進歩派、憲政党新潟支部を組織する(⑦185)
	12. 9	移民会社森岡商会の移民募集に応じ、この日から明治33年2月17日までに1558人がハワイ渡航を申請する(⑦345)
	12.11	憲政本党・憲政党の有志者、新潟県非増租同盟会を結成し、山県内閣の地租増徴案の反対運動を開始する(⑦186)
	12.3	政府、地租増徴を公布。新潟県の地租は33.3パーセントの増税となる(⑦187)
	12	県会、分水工事確立の建議を採択する(⑦200)
		◇明治28年度を基準とする県歳入指数が442と膨張。県財政の窮乏深刻化する(⑦169)
1899	明治32. 1.15	新潟県非増租同盟会、新潟県減租同盟会に改組され、減租の実現と増租に賛成した憲政党3代議士の辞職勧告運動を起こすことを申し合わせる(⑦187)
	1	直江津商業会議所設立(⑦224)
	2.27	森岡商会の移民募集に応じ、県人373人、ペルーに出発。入植後、赤痢その他風土病で死亡する者続出、社会問題(佐倉丸事件)となる(⑦346)
	3	県下で最初の新派(日本派)の句会(のち、「木の芽会」)が、高田で催される(⑦637)
	3	新潟県農会、総会で耕地整理の啓蒙指導の実施を決議する(⑦495)
	4. 1	高田に新潟県第二師範学校(のち高田師範学校)設立される(⑦608)
	4	県水産試験場設立。明治36年新潟から寺泊に移転、大正10年佐渡郡両津町に佐渡分場を設置する(⑧186)
	5.3～4	新潟市で県製系改良期成大会が開催される(⑦267)
	5	県会、「高等学校設立二関スル建議」を満場一致で採択し、県下への官立高等学校誘致を当局に働きかける(⑦612)
	6.13	新潟県農工銀行設立される(⑦213～214)
	7. 1	改正「府県制」・「郡制」が施行される。複選制・大地主選挙制が廃止され、県議選・郡議選が直接選挙に変わる(⑦155)
	7.21	佐渡鉱山の鉱夫ら、経営合理化に反発、鉱山事務所を破壊する(⑦374)
	8.16	佐渡鉱山の支柱職工ら、労働時間の短縮を求めて同盟罷業に入る(⑦375)

		8.26 新潟県蚕糸会が設立される(⑦268)
	8.下	高田への高等学校誘致運動起こる。明治44年にも運動再燃する(⑦615)
	9. 5	北越鉄道が直江津～沼垂間で全通(春日新田～沼垂間は明治31年12月29日開通)する(⑦200・232・556)
		9.25 直接選挙による県会議員選挙。憲政本党が過半数を制する(⑦158・188)
		9.3 直接選挙による郡会議員選挙。憲政本党が過半数を制する(⑦158)
	12. 8	新潟殖民株式会社, 白山公園偕楽館で設立される(⑦346)
		◇中蒲原郡亀田町・袋津村ほか6か村, 亀田物産綿改良組合を組織する。翌33年五泉織物組合結成される(⑦278)
1900	明治33. 1. 7	森知幾ら, 被差別部落民子弟の教育機関として, 相川町に明治学校を開く。明治42年廃止(⑦654)
		1.19 千頭清臣(宮城県知事), 新潟県知事となる(⑦195)
		2.2 新潟県染織業連合会が設立される(⑦279)
		2.28 山田穀城を中心とする新短歌運動の「みゆき会」第1回詠草が「新潟新聞」に掲載される(⑦636)
		2 新潟師範学校女子部を独立させ, 長岡に新潟県立女子師範学校を開校する(⑦365・608)
		3.18 佐渡鉱山職工600人余が同盟罷業に入る。4月2日妥結する(⑦375)
		3 新潟市に在郷軍人団発足。日露戦争後, 連隊区司令部の指示のもとに各地に在郷軍人団の設立が続く(⑦621)
	4. 1	郡立ないし町村組合立の長岡・中頸城・新発田・佐渡の4中学校が県立に移管され, 村上・柏崎に分校が設置される(⑦604)
	4. 4	佐渡鉱山, 鉱山改革の方針を発表する(⑦378)
	5. 1	新潟県高等女学校が開校する(⑦604)
	9. 8	柏田盛文(茨城県知事), 新潟県知事となる(⑦195)
		9 新潟県農会, 耕地整理講話会を県下20か所で開催する(⑦495)
	10. 1	柏田知事, 郡長会議で「普通教育の普及と農事改良」を2大綱目とする「県治方針」を示す(⑦196)
		10.16 県, 「短冊形稲苗代設置ニ関スル県令」を発し, 短冊形苗代設置を強制する(⑦196・495)
	11. 1	柏田知事, 県下大地主112人を招集, 苗代改良・耕地整理・学齢児童の保護のために協力を要請する(⑦196)
		11 県会, 郷津・赤泊・瀬波(のち岩船)・寺泊の4港湾修築を求める建議を採択。国庫補助の見込みなく実現せず(⑦201)
		11 スタンダード社がインターナショナル石油会社を設立, 直江津を本拠に採掘・精製事業に乗り出す(⑦249)
	12. 2	政友会新潟県支部の発会式, 新潟市の行形亭で行う(⑦190)
1901	明治34. 2.11	柏田知事, 県内の郡市町村関係者に対し, 町村合併実施の諭告を発する(⑦170)
		2.13 県選出憲政本党の9人の代議士, 党本部の増税案支持に抗議し, 全員脱党する(⑦191)
		2.15 知事, 郡長会議を招集, 町村合併原案の作成を郡長に命じる。郡長ら, 3・4月中に原案を知事に答申する(⑦173)
		3.28 新潟市に電話交換局が設置され(全国21番目), 7月21日交換業務を開始する。当初の架設は170基(⑦583)
	4. 4	中魚沼郡染織学校が十日町に開校する(⑦280)
		4 漁業法公布(明治35年7月1日施行)。県, 漁業権免許に備え, 県内漁業の実態を調査する(⑧182・183)
	5.25～26	第1回新潟県立学校連合運動会, 新潟市寄居浜で開催される(⑧517)

	6.24	知事、県作成の町村合併案(816町村を369町村とする)を関係町村に示し意見を聞く(回答期限7月10日)。県提示の合併案に反対の町村会80パーセントに達する(⑦174)
	6	佐渡河原田の金沢善観ら、興仁学舎を設立する(⑦655)
	7.14	県、新潟・長岡・高田など7市町の建造物の屋根は、不燃性材料によって修葺・改葺するよう諭告する(⑦551)
	8. 7	知事、内務大臣に対し、県の町村合併案に比較的反対が弱い170町村の合併の許可を求める。8月31日、反対の強い残り77町村についても追加稟請する(⑦174)
	8.1	新潟市で1府11県連合共進会開催。のち会場を商品陳列館として公開する(⑦226)
	10. 6	県、町村数を816から456に減少させる大規模な廃置分合を告示する。実施は11月1日(⑦175)
	10.上	町村合併をめぐる反対運動激化、県庁・内務省に取消し陳情あいつぐ(⑦176)
	10	長岡電燈株式会社営業を開始する(⑦665)
		◇県、耕地整理奨励委員を任命し、初めて耕地整理を奨励する(⑦496)
		◇会津八朔郎(ハ一)ら、「木枯会」を結成、月1回句会を開く(⑦638)
		◇県、鮭の人工ふ化場を岩船郡瀬波町に設ける。明治43年北魚沼郡川口町、南蒲原郡本成寺村にも設立する(⑧186)
1902	明治35. 3.16	憲政本党からの脱党者、新潟県進歩党を結成する(⑦191)
	3	新潟女子教育会が組織される(⑦365)
	4	北越蚕業講習所、中蒲原郡五泉町三本木に設立される(⑦261)
	7.27	室孝次郎ら、憲政本党頸城支部を結成する(⑦191)
	8.1	第7回衆議院議員総選挙。県進歩党7、政友会5、中立2人当選する(⑦192)
	12. 9	県会、大河津分水中止の建議を採択する(⑦203・484)
		◇県下の町村が抱える債務高、全国平均の3倍に達する。とくに北・中・西蒲原郡と三島郡・中魚沼郡の債務が多い(⑦419)
		◇みゆき会、機関紙『わかな舟』を発行。これを機に急速に新興短歌が広まる(⑦637)
1903	明治36. 1.10	長岡町、長岡商業会議所設立認可を申請する(⑦227)
	2.25	柏田盛文知事、前年末発覚の教科書疑獄事件に連座し、休職を命じられ、拘引される(⑦601)
	2.27	阿部浩(千葉県知事)、新潟県知事となる(⑦195)
	3. 1	第8回衆議院議員総選挙。県進歩党8、政友会5、憲政本党1人当選する(⑦182・431)
	4.1	雑誌『実業世界 太平洋』第1巻第4号に「裏日本」の語が初めて現れる(⑦193)
	9.25	県会議員選挙。県進歩党大勝する(⑦189・430)
	11.29	新潟県進歩党、憲政本党に復党し、同党新潟支部を結成する。大竹貫一ら旧国権派グループは加わらず、一派を組織する(⑦191・430)
		◇県農会、このころから各郡より1か村を選び、「村是調査書」を作成させる(⑦326・424)
		◇柏崎に本県最初のテニスクラブ、柏陽クラブが設立される(⑦824)
1904	明治37. 2. 8	日露戦争はじまる(2月10日宣戦布告)。県下各町村で勤倭運動・軍事後援事業が行われる(⑦385)
	2	歩兵第16連隊(新発田)・第30連隊(村松)、出征する。遼陽・旅順・奉天で戦い、翌年12月帰国する(⑦386)
	3. 1	第9回衆議院議員総選挙。憲政本党5、政友会5、旧国権派2、中立2人当選する(⑦182・431)
	3	県会、知事が提案した県当初予算の減額更生案を可決する(⑦395)
	9. 1	新潟市の国粋座で初めて映画上映される(⑦819)

		11	日本石油と宝田石油、共同販売機関として株式会社国油共同販売所を設立する(⑦252)
		11	新潟市商人白勢春三、蒲原郡間瀬銅山の経営権を取得、近代的鉱山経営をすすめる(⑦689)
		11	県会、遠洋漁業奨励の建議を決議する(⑦534)
	12. 1		信濃川水系塩殿発電所、営業を開始する(⑦665)
			◇県、郡市長に対し農事改良の実行方法を定めさせ、実行成績の報告を求める(⑦502)
1905	明治38. 2.		中蒲原郡横越村に沢海生産販売組合が設立され、繭の共同販売や蚕業技術の伝習を行う(⑦266)
	3. 7		長岡商業会議所設立される。昭和2年長岡商工会議所に改組(⑧244)
		5.25	日本天然瓦斯株式会社設立される。明治44年から長岡を中心にガスの供給を開始する(⑦793)
		6.21	北越水力電気株式会社設立される(⑦666)
	9. 5		日露講和条約調印され、日露戦争が終わる(⑦401)。県民の戦死・戦病死者は3318人、軍事公債応募実収額は、1260万円余(⑦389・397)
	9. 8		与板町民有志大会、長岡町民大会(10日)、直江津町民大会(10日)が開催され、条約破棄・閣臣弾劾を決議する(⑦401)
		9.13	新潟市で、日露講和条約反対の県民大会が超党派で開かれ、条約破棄の上奏を決議する(⑦402)
		10	県女子教育会有志懇話会が開催され、女子教員産休中の俸給支払い等について協議する(⑦365～366)
		11.23	県会議員協議会、桂内閣の退陣を迫る政府問責決議を行う(⑦402)
			◇堤清六、新潟市に堤商会を設立。翌年から北洋漁業に乗り出し、大正8年北洋漁業における堤商会の独占形態を確立する(⑦534)
1906	明治39. 1.13		県、郵便貯金増加をすすめる訓令を出す。以後、郡役所の主導下に勤儉貯蓄の推進が行われる(⑦421)
	4. 1		長岡町、市制を施行する(⑦544・549)
		7.27	産業組合中央会新潟支会が結成される。会長は高橋九郎(⑦507・758)
		8.3	上越電気株式会社設立。明治45年越後電気株式会社、大正11年中央電気株式会社と改称する(⑦666)
		10.26	県、「社寺合併標準」を発し、神社合併を推進する(⑦425)
		12.14	県会、寺泊築港費予算を可決する。総工費34万円余、5か年継続事業(⑦435・569)
			◇加治川水害予防組合設立(⑦488)
1907	明治40. 1.11		県、17項目からなる産業振興の諭告を発する(⑦408)
		1.11	清棲家教(和歌山県知事)、新潟県知事となる(⑦618)
		2.18	北越製紙株式会社設立される(⑦675・685)
		2	日本石油新潟硫曹製造所設立、化学肥料を製造する(⑦674)
	4. 5		県、「新潟県輸出米検査規則」を制定する(⑦120・126・511)
		4	越佐汽船会社、県費の補助を得て新潟～ウラジオストック直行航路を開設する(⑦574)
		4	宝田石油の関係者、秋田県に中外石油アスファルト株式会社を設立し、豊川油田の開発に着手する。以後、新潟県石油資本の秋田県進出が顕著となる(⑦699)
	5. 3		上越電気株式会社、関川中流に蔵々発電所を建設し、送電を開始する(⑦666)
		5.22	新潟水電株式会社設立される(⑦667)
		6.22	新潟水力電気株式会社設立される(⑦668)
	8. 1		北越鉄道、国有となる(⑦557)
		8.13	金光教の中川守良、新潟市で布教をはじめ(⑦650)

	9.25	県会議員選挙。政友会・旧国権派連合と憲政本党の勢力伯仲、両派とも党議制を採用する(⑦434)
	12.27	報徳思想を奉じる新潟県斯民会結成される(⑦426)
		◇大河津分水工事(国直轄)着工される。起工式は明治42年7月5日挙行、大正13年3月竣工(⑦485・569)
		◇信濃川河口改修工事(国営)が15か年継続事業としてはじまる(⑦568)
		◇この年から県内織物産地に力織機が導入されはじめる(⑦709)
1908	明治41. 1.12	新潟県能楽会が組織される(⑦823)
	4.11	「輸出羽二重奨励補助規程」公布される(⑦713)
	4	「小学校令」改正により、小学校修業年限が4年から6年に延長され、以後、町村財政を圧迫する(⑦366・418)
	5.15	第10回衆議院議員総選挙。憲政本党6、政友会6、旧国権党1、中立1人当選する(⑦433)
	5.24	加治川改修工事(県管轄)着工される。大正3年7月竣工(⑦488)
	6.18～9	新潟県斯民会第1回総会開催(⑦426)
	11. 1	高田町に第13師団が設置される(⑦586)
		◇須貝快天、北蒲原郡中条町を中心に中条郷小作協会を結成する(⑦749)
		◇新潟県農事督励委員設置される(⑦502・507)
1909	明治42. 3.12	県、「漁船改良補助規程」を制定する(⑧187)
	7. 2	「力織機奨励補助規程」公布される(⑦713)
	11.29	憲政本党、県会で政友・旧国権派連合の名誉参事会員6人に旅費不当取得があるとして攻撃する(⑦436)
		◇県、この年から町村(学校)基本財産蓄積を強く指導しはじめる(⑦423)
		◇電気化学工業所、中頸城郡名香山村田口駅近くの工場で、わが国初の燐の製造を行う(⑦675)
		◇日露戦争後、町村財政膨張。明治36年を100とする県下町村歳出総計指数が、この年150に達する(⑦415)
		◇巨大地主市島家、同族結合による伝統的経営方法を改め、専門職員を雇用し、経営の近代化をはかる(⑦106)
1910	明治43. 1.	露領水産組合新潟支部(支部長は関矢儀八郎)が結成される(⑦535)
	1	日石・宝田の内油2社とスタンダード・ライジングサンの外油2社が石油(灯油)販売協定を結ぶ(⑦698)
	3.15	新潟毎日新聞創刊される(⑦800)
	4	県、新潟県原蚕種製造所を五泉町に設置する(⑦265・724)
	5. 6	県、「公有林野造林補助規程」を制定する(⑦524)
	5	憲政本党新潟支部・頸城支部、それぞれ立憲国民党新潟支部・頸城支部に改組される(⑦430)
	7. 3	新潟瓦斯株式会社設立され、翌年から新潟市内にガス供給開始する(⑦794)
	8	新潟県酒造組合連合会発足(⑦294)
	9. 1	官立新潟医学専門学校が開校する(⑦618)
	9	田中二四郎、来迎寺～小千谷間に県下で初めてバスの運行をはじめる(⑦566)
	10. 1	新潟市営の上水道が完成し、給水をはじめる(⑦548・795)
	10.13	内務・農商務両次官の連名で、各府県に部落有林野統一の推進を命じる通達が出される(⑦525)
	11. 3	帝国在郷軍人会が結成され、以後、県下各地の在郷軍人団がその分会に改組される(⑦622)
1911	明治44. 1.15	オーストリア武官レルヒ少佐、高田の薬師山で日本初のスキー指導を行う(⑦831)
	5.11	魚沼水力電気株式会社設立される(⑦668)
	6	新潟毎日新聞、新潟日報を併合する(⑦800)

	9. 1	高田町, 市制を施行する(⑦544・592)
	9.14	魚沼鉄道(新来迎寺～小千谷), 開業する(⑦558)
	9.25	県会議員選挙。国民党の議席数, 政友会・旧国権派連合を1人上回り、県会の主導権をにぎる(⑦434・437)。
	10. 7	県会臨時会で, 国民党が県会議長以下役員を独占。政友会が国民党3議員の議員資格の調査を求め, ミショウ平問題起きる(⑦437)